

遠賀川流域通信

発行日 2002年7月15日
発行責任者 遠賀川流域住民の会
世話人代表 窪山邦彦

遠賀川流域住民の会発足



「遠賀川流域住民の会」の世話人が各ブロックから選出された。挨拶をする、世話人代表 窪山邦彦氏。

十五年間の人々の想いが育まれ、遠賀川流域住民の会が発足。遠賀川の再生に向けてさらに輪が広がった。

二〇〇一年十二月八日、飯塚市、のがみプレジデントホテルに於いて、「遠賀川流域住民の会」設立総会を開催しました。

当日は、国土交通省遠賀川工事事務所海野修司所長、江頭貞元飯塚市長、有古威直方市長、北九州市水道局矢野浩局長をはじめ、県および各市町村からたくさんの行政関係者にも参加いただきました。

また、東京より曾根靖史氏 I LOVE 遠賀川実行委員長も駆けつけていただき、会員団体・出席者とともに、「遠賀川流域住民の会」の設立を祝いました。

総会では、設立趣意書及び規約を確認。「遠賀川流域住民の会」の世話人を各ブロックから十六名選出、世話人代表に窪山



大槻均氏(琵琶湖・淀川水質保全機構元事務局長)の記念講演を開催、会としての指針を導いていただいたお話でした。

遠賀川流域住民の会

設立に当たって

世話人代表 窪山邦彦

私たちの遠賀川は古代より流域で生活している動植物の命の水を提供し続けています。しかし、私たちは、この命の水を当たり前と思い酷使続けています。

そのことに気が付き何とかしなければと、十五年前より流域各地で色んな団体が自主的に活動を行なうようになりました。

遠賀川流域で個々に活動している団体が連携を図り、情報交換や人的交流を促進し、遠賀川流域圏の河川環境や水質の向上及び経済の発展に寄与することを目的に「遠賀川流域住民の会」を結成しました。

流域67万人の生活の舞台である遠賀川の再生に真剣に取り組む時期が来たと思います。国・県・市町村と連携を図りながら一人ひとりが行動を起こされることを期待します。

私たちの活動目標は

- 山を守り・・・
- 川を生かし・・・
- 海を生かす・・・
- そして
- 人が活かされる



遠賀川工事事務所所長 海野修司氏

遠賀川流域住民の会が発足されましたことは、遠賀川にとって、歴史的な意味を持つ出来事であり、その設立に心からお慶び申し上げます。

この遠賀川は、いにしえより、私どもに自然の脅威を与えなが

らも、人と生物の生命、流域の歴史・文化を育み、近代は石炭産出の流域として日本を支えてまいった、かけがえのないものであります。

しかし残念なことに、人と川との関わりが希薄化する中で、九州の河川では水質はワースト一、ゴミは大量に投棄され、かつての自然環境が失われるという問題を抱えております。

このため、皆様には流域内に各種の住民団体を発足され熱心な運動を展開していただいでい

これまでの主な取り組み

遠賀川水環境を考えるシンポジウム



夢の川を演じる鎮西小学校（田川市）4年生の皆さん



サケの旅を演じる足白小学校（嘉穂町）5年生の皆さん

三月十六日（土）ユメニテイのおがたに於いて、「遠賀川水環境を考えるシンポジウム」が、国土交通省・遠水連・水濁協・遠賀川流域住民の会の共催で開催されました。

「川から地球環境を考える」をテーマに近自然工学研究家の山脇正俊氏より基調講演。

引き続き、鎮西小学校、4年生が、「僕たち私たちの夢の川をつくろう」をテーマに、研究発表が行なわれ、川の生物と人との共存のあり方を問う寸劇に、参加者一同考えさせられました。

続いて、足白小学校、5年生による「サケの旅」で、サケがさまざまな障害にも負けないで、生まれた川に戻るまでの様子を熱演、子どもたちの感性のすばらしさを感じる寸劇でした。

パネルディスカッションでは、流域の代表者が「子ども達に伝えよう・川っていいな」でそれぞれの想いが語られました。

遠賀川人材募集

遠賀川流域で「地域づくり」や「環境問題」に取り組まれている「達人」を募集します。達人は遠賀川流域住民の会に登録いただき、会として「遠賀川人材バンク」の冊子を作成します。

「人材バンク」に登録いただいた達人は、小・中学校など、子どもたちが「地域の歴史・文化」や「環境教育」など、学ぶ、遊ぶ、伝える、作るなどの視点から指導及び助言者として、また、地域で生涯学習など講師として、各方面で幅広く活躍していただきたいと考えています。

募集方法

- ・「登録推薦状」に所定の事項を記入ください。
- ・白薦他薦は問いません。
- ・子ども達に、遊ぶ楽しさ、学ぶ楽しさを、大人から一緒に伝えたいと考えます。（小さい取り組みでも大歓迎）

問合せ先

遠賀川流域住民の会 事務局

植木康太 TEL・FAX 0947-45-0594

- ・登録推薦状が必要な方は連絡してください。後日郵送いたします。

※「人材バンク」の冊子は、皆さんのご協力で作れます。豊かな自然と、豊かな人々が住む遠賀川をめざしてご協力をお願いします。

大野川視察



大野川本流の中流部にある河童小屋

三月十日、地域交流センター九州事務所の森本さんに同行。大分県大野川を視察、関係者と交流を行ないました。

大野川流域は、住民と川との関わりが深く、河童小屋はその一つで、川の仲間の活動拠点、交流の場、子ども達の学習の場として活用されているとのことでした。

遠賀川のごみの行くえ

水面清掃船クワガタ号



「遠賀川流域住民の会」報告

昨年十二月、「遠賀川流域住民の会」の設立総会を終え半年が経過しました。

世話人会では、遠賀川の再生に向けて、会として何をなすべきか、目標・到達点を論議し、大きな柱五点を定め、それぞれ役割を分担し、提案、全体で進めてきました

- 一、環境・水質改善十年計画について
- 二、NPO法人立ち上げについて
- 三、人材バンク冊子作成について
- 四、ホームページ立ち上げについて
- 五、広報紙発行について

源流の森づくり植樹活動

地域団体活動紹介



飯塚高校の生徒の皆さんも卒業記念に植樹のボランティア

三月十七日(日)に第五回Hの植樹活動を開催しました。下流域の北九州市、芦屋町、中流域の中間市、飯塚市、また漁業組合や職場の仲間、学生の皆さんなど遠賀川流域の各方面から多数の参加を頂き誠に有難うございました。

今回の植樹は個人の山林約一畝に二千本のケヤキやクスギ、カエデなどの広葉落葉樹を植樹しました。

植樹の目的としては、自然の森を蘇生させて保水力を高め、安定した水量を供給すると共に流域の皆さんが河川環境問題への意識が高まることを願っています。

『遠賀川源流の森づくり植樹活動』に二百五十名参加

遠賀川源流の森づくり推進会議 会長 森 裕治



どんぐりもいっぱい植えたよ！植樹した広葉樹はすくすく育ちすぐに2株を超える木々になる

これからも今までの活動を継続して植樹面積を拡大するとともに、国産木材の低迷により、荒廃した山林の枝打ちや伐採など、できるところから活動を続けたいと考えています。

下草刈りのご協力を

毎年、植樹した山林の成長を促進するため、下草刈りをします。今年も下記の日程で行いますのでぜひご参加ください。

日程 8月4日(日) 8時30分受付 9時開会
場所 大隈小学校運動場(嘉穂町役場裏)
服装 作業の出来る服装

持ってくるもの 水筒・鎌(準備もあり)

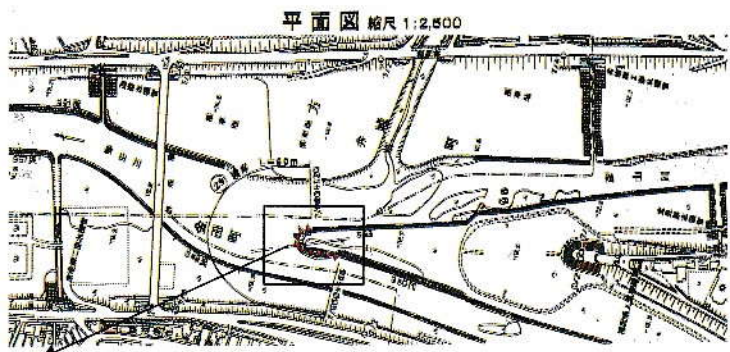
心地よい汗をかいた後は、冷えたビールにパーベキューで舌鼓、楽しい交流会(参加費1人1000円)も予定。

問い合わせ先 電話 0948-57-1212

嘉穂町役場企画財政課企画調整係

彦山川と中元寺川の合流地点護岸工事についてみんなで語ろう

地域団体活動紹介



金田町河川公園と隣接しているこの地点に、住民の希望するプランを考えてみませんか。10年後の夢プランもきつと形として実現すると思います。

金田町河川公園隣接地の護岸工事についてみんなで語る会を開催

田川ふるさと川づくり交流会 会長 植木 康太

昨年六月十九日から二日間発生した大出水で、彦山川と中元寺川の合流地点で河岸が崩壊しました。現在、遠賀川工事事務所山川出張所で、災害復旧工事として護岸整備が計画されています。

そこで、田川ふるさと川づくり交流会では、住民の立場から望む護岸工事について意見をまとめ、今後の護岸整備にいかしていただきたいと思っています。

河川本来の役割、自然との

共生、人が親しむ河川、など、いろいろな角度から話し合います。

今回は、会員以外の方にも河川について、実際に作り上げて行く過程など共に話し合っていきたいと考えています。お気軽に参加してください。お待ちしております。

田川ふるさと川づくり交流会 開催日程のお知らせ

日程 8月1日(木)19:00~
会場 田川市民会館

定例会議以外でも、話し合います。

問合せ先

田川ふるさと川づくり交流会

遠賀川工事事務所田川出張所

TEL0947-44-0568 川崎・吉田



田川ふるさと川づくり交流会6月定例会の様子...藤原恵洋先生(九州芸術工科大学助教授)のワークショップで今後の運営のあり方などを学んだ。

遠賀川の生き物たち



カワセミ



オイカワ



遠賀川の流域図

インフォメーション

五平太船 進水式

日程 7月20日 午前10時より
会場 遠賀川工事事務所
飯塚出張所前河川敷

I LOVE 遠賀川住民交流会 In 赤池開催のご案内

日程 9月7日(土)
会場 赤池町同和対策中央研究所

赤池町は緑と清流、陶里と童話の町です。町の中央を彦山川が流れ、上野地区は北九州国定公園に面し、上野峡、福地山など自然に恵まれています。

今回第8回I LOVE 遠賀川住民交流会を赤池町で行ないます。詳細は次回ご案内

遠賀川流域通信は「遠賀川流域住民の会」の会員団体・及び流域に集う住民の交流の場です。ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

遠賀川流域住民の会
事務局長 植木康太
TEL/FAX 0947-45-0594
E-mail: k.uekil@crocus.ocn.ne.jp

九州「川」のワークショップ開催・作品募集

九州「川」のワークショップ実行委員会九州「川」のワークショップとは「いい川とは何か」「いい川づくりとは何か」を地域市民団体と行政(河川管理者)が一堂に会して、一緒に探ろうとするものです。昨年、第1回目を久留米市で開催、とても好評でした。今年度も第2回「九州「川」のワークショップ」を開催いたします。

開催要項

日程 2002年9月14日(土)～15日(日)
会場 9月14日: 佐賀大学農学部 (12:00～21:00)
15日: 佐賀県立森林公園 (10:00～16:00)

応募・参加方法

- ・ワークショップで発表する個人・団体は、応募用紙に記入、事務局まで郵送。2002年8月9日必着。郵送・ファクシミリ・メールで申し込み。
- ・発表用パネル(A1サイズ)は、発表当日会場へ持参。尚、縮小コピーを(当日資料準備のため)8月23日まで事務局必着。
- ・当日参加のみの方は、申し込み用紙に記入し、事務局まで郵送ください。

作品発表方法

- ・大人の部
全体セッション……1団体の発表時間は3分、意見交換7分程度行なう。
パネルセッション……1団体につき10分程度、発表者と参加者が討論。
- ・子どもの部(小学生～中学生対象)9月15日(13:00～15:00)
1団体の発表時間3分、意見交換7分程度。

その他……第1日目の夜は交流会を開催
問い合わせ先

第2回九州「川」のワークショップ実行委員会事務局 担当 磯辺信之
〒840-0015 佐賀市木原2丁目11-13-205
TEL&FAX 0952-26-4486
E-mail: kd11050@edu.cc.saga-u.ac.jp
URL: http://www.h3.dion.ne.jp/~ag-eco/

問い合わせ先(遠賀川流域)
遠賀川流域住民の会事務局
植木康太 TEL 0947-45-0594

遠賀川を美しくするための講演会 第3弾

キミよ歩いて考えようよ

とき 2002年8月24日(土) 14:00～16:00
ところ 立岩総合会館・飯塚市役所斜め前
講師 宇井 純氏(沖縄大学教授)
資料代 500円
主催 I LOVE 遠賀川流域住民交流会 テポジット法制化を求める事務局

宇井 純氏プロフィール
東京生まれ、86年から沖縄大学教授。日本の環境問題を分析し、対策を提言する公害研究者の第1人者

子や孫に安全でおいしい水を飲ませたいという願いを込めて、いのちの源「水」について、宇井 純先生を囲んで語り合しましょう。

テポジット法制化を求める事務局 妹川征男
TEL 093-222-2588

デポジット事務局では、テポジット制度を容器包装リサイクル法や家電リサイクル法に導入するよう遠賀川を発信源にして、地方議会による意見書採択や国会請願書運動を全国に展開してきました。現在は「テポジット制度導入を求める国会請願」の団体署名を募集中です。ご協力ください。賛同いただける団体、または、ご質問のある方はご連絡ください。